

ご挨拶

向春の候　ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素よりガーディアン・エンジェルスに深いご理解を賜りまして、心より感謝申し上げます。年が明けて時間が経ちましたが、昨年の活動をまとめましたので、ご報告させていただきます。

コロナによる行動制限が解除され、私共の活動も通常に戻りました。中止となっていた地域行事やイベントが再開され、大晦日から元日にかけて、渋谷カウントダウン・パトロールを実施することができました。外国人が目立ち街の賑わいが戻ってきたと実感した次第です。

本年の年頭には、「新しい」という言葉が飛び交っていました。「新しい生活」「新しい時代」「新しい日本づくり」などです。社会全体から新しい年への希望と意欲が伝わってきて、元気が湧きました。

しかし、治安面では、20年間減り続けていた犯罪が増加に転じ、最早、のうのうとしている場合ではなくなりました。21年前の平成14年に285万件とピークだった刑法犯認知件数は、一昨年は56万8,104件にまで減りましたが、昨年は、60万1,331件と3万3,227件増えました。官民が協力し合い20年という歳月をかけて減らした犯罪も、時代背景や防犯へ意識の変化、または努力を怠ると、またたく間に街が荒れてしまいます。実際に欧米の急速な治安の悪化を目の当たりにして、今の日本の様子には危機感を覚えます。



昨年増えた刑法犯は、乗り物盗や詐欺の割合が比較的多く、これらは鍵をかけることや、用心することで一定数を回避できます。このところ罪のない人が巻き込まれる事件の報道が続き、不安は募るばかりですが、自ら防犯対策を徹底することにより、安心感も高まり、犯罪に遭う機会も少なくなります。

私たちガーディアン・エンジェルスは、住民の皆様に今一度、防犯意識を高く持って暮らすようお願いしてまいります。

本年のガーディアン・エンジェルスは、活動中にいつも配慮している「見る」「聴く」「察する」力をさらに強化し、良質で感度の高いパトロールを目指します。それは、安全確認だけではなく、危険にいち早く気づき未然に防ぐことはもとより、人や地域の明るい兆しを察する感性も含まれます。成人式の日、新成人たちの屈託のない笑顔を見て、これからの日本を託す青年や子供たちに、夢のもてる、安全で安心できる社会を繋いでいかねばと、心の底から思うと同時に使命感にもかられています。バタフライ・エフェクトのように、小さな動きが日本全体を動かすほどの影響を及ぼすかもしれません。良き見本でいられるよう、姿勢を正して活動に邁進いたします。

今日、防犯パトロール団体は、全国で4万5,000団体が活動していて、地域の安全を下支えしています。ガーディアン・エンジェルスも引き続きまちに出て、人や地域の安全に力を尽くしてまいります。

今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

令和5年春　理事長　小田　啓二